

エジプト・アラブ共和国

国の概要 (外務省 HP より)	面積 約 1,000,000km ²
	人口 1 億 926 万人 (2021 年, 世界銀行)
	首都 カイロ
教育行政組織	
国	教育・技術教育省 (主に中等教育段階以前を管轄)*高等教育段階は高等教育省, イスラーム学校はイスラーム総合機構アズハルの管轄
地方	エジプトの教育行政は中央集権的な性格が強いといわれる。株式会社パデコがまとめた 2016 年の報告書『エジプト・アラブ共和国基礎教育分野にかかる情報収集・確認調査』によると, 中央教育行政機関による一元的管理の下, 県行政機構の一部局として教育行政担当の教育局 education directorates が置かれ, さらにその下に全国 290 の教育地区が置かれている。
教育課程基準	教育課程の「大綱 framework」が存在する。ただし, 教育課程基準として制度上どのような位置づけにあるのかは現在確認中である。現在, 国の教育課程に関する改革の大きな指針となっているのが, 教育・技術教育省が掲げる教育改革ビジョン“Education 2.0”である。能力重視 skill-based かつデジタル化した digital 学習に向けて, 2030 年までに教育制度の全般的な見直しを進めるとしている。なお, カリキュラム開発や教材の導入を担う中心的な組織として, 教育・技術教育省外局のカリキュラム開発センター (CCIMD: Center for Curriculum and Instructional Development) がある。
教科書制度	
教科書の定義	教科書の定義を直接的に示した法的な規定は現在確認中であるが, 「学校教科書の教授と印刷と出版に関する 1964 年法第 10 号」の規定では, 「教育省もしくは地方行政機関が管理監督する公立もしくは私立学校において, 定められている教育カリキュラムの全部もしくは一部を含む書籍」(1964 年法第 10 号)と表現されている。
発行主体	複数の民間会社が教科書開発を行っているが, 後述のように多くの政府系機関が関与する。
国定, 検定, 認定などの制度	実質的に国定教科書に近い制度をとっているが, 教科書の開発から配布までのプロセスには, 官民多くの機関が携わっている。まず, カリキュラムの策定は, 国家及び政府(教育・技術教育省大臣)が主導することが憲法及び教育法において明記されており(2014 年憲法, 1981 年法第 139 号), 教育内容や方法の国家管理を徹底する方針は他の法律でも一貫している。その上で, 教科書開発にあたっては教育・技術教育省内外の関連部署の代表者をメンバーにした「学習図書・出版物および教育方法常設委員会」を設置することになっている(2014 年教育・技術教育省令第 263 号)。
採択・選定などの制度	教科書は各教科につき 1 種類であり, 全国一律の教科書が用いられている。
使用義務の有無	使用義務に関する法的根拠の有無は現在のところ確認中である。なお, 上述の 1964 年法第 10 号では, 当該法律が定義するところの「教科書」を, 教育省大臣の許可を得ることなく出版, 配布, 販売, 提示した場合, 発行者は禁

	固または罰金等の罰則を受けるとされ、国が配布する教材以外の使用は制度上厳しく制限されている。
有償・無償	憲法は全ての公立学校の無償性を強調している(2014年憲法)。ただし、実際の教科書代は有償である。一例として、2022/23年度の場合、公立小学校3年生は教科書代として345エジプトポンド(約2500円/2022年9月時点)を支払うよう教育・技術教育省から周知された。なお、後述のとおり教科書のpdf版をインターネット上で無料で取得できるため、実質的に全国民が無償で教科書を利用できる。
給与・貸与	教科書は給与される。(上記の例があるので一部有償)
教科書の特徴	教科書は教科ごと、学年ごとに作成され、基本的にはエジプトの学年暦にあわせて前期と後期に1冊ずつ別々の教科書が準備されている。教科書の構成としては、単元ごとに内容が分けられている。構成は教科書により異なるが、概ね本文、関連する図表、単元の最後に練習問題、発展的内容等がまとめられている。いずれの教科書も色彩豊かであり、挿絵も充実するなど学習者が学習内容に興味をひくようなデザインが意識されている。教科書のページ数は教科や学年、学校段階によっても異なるが、例えば小学校3年生後期のアラビア語教科書(2022/23年度版)の場合、A4版で全148頁ある。
デジタル教科書の状況	紙媒体の教科書を電子化したデータを教育・技術教育省等のwebサイトで全編公開している。また、上述の“Education 2.0”の一環として、政府はICTの活用に非常に積極的であり、Hişas Misr (https://www.hesas.eg/home)などwebサイトでの学習プラットフォームの構築を急速に進めている。